



2022年6月30日

株式会社 阿波銀行

丸美化成株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、丸美化成株式会社（代表取締役 松岡 勝義、本社：兵庫県尼崎市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 企業名 | 丸美化成株式会社            |
| 所在地 | 兵庫県尼崎市東海岸町 12 番地の 1 |
| 代表者 | 松岡 勝義               |
| 業種  | 製造業                 |
| 設立  | 1973 年 4 月 5 日      |

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の 3 側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年6月30日



## 丸美化成株式会社 代表取締役 松岡 勝義

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

| 項目       | テーマ                 | 取組み内容   | ①取組みと②数値目標   | SDGsのゴール |  |
|----------|---------------------|---|--|----------|--|
| 社会・経済    | 働きがい・ワークライフバランス     | 社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、働きがいを感じられる職場づくりと豊かなライフスタイルの実現環境を目指します。     | ①(1)ワークシェアリングによる従業員の多能工化<br>(2)社内規程・方針の見直し<br>(法定年次有給休暇の確実な取得)                                   |          |  |
|          |                     |   | ②(1)2023年度までに直接部門、間接部門の業務プロセスを改善・体系化しジョブローテーションを実施<br>(2)2023年度までに労務規程等を見直し、時間単位の年次有給休暇制度を導入     |          |  |
| 環境       | 環境への配慮              | 持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。                            | ①廃棄物再利用に伴うエネルギーシステムの構築   |          |  |
|          |                     |   | ②2023年度までに、産学連携を行い、エネルギーシステム装置の開発及び販売  |          |  |
| 社会       | 情報漏洩の防止             | 各種機密情報の保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏洩防止に努めます。                            | ①顧客情報取り扱いに関するマニュアルの策定  |          |  |
|          |                     |   | ②2024年度までに社内マニュアルを作成し、従業員全員への周知徹底及び配布  |          |  |
| 環境・社会・経済 | 社会課題解決に資する商品・サービス開発 | SDGsのターゲットやゴールと自社事業のつながりに関して理解を深め、今後SDGsに貢献する製品・サービスの開発に取り組みます。 | ①繊維製品状の花粉由来タンパク質等の測定方法に関する国際標準化(ISO4333)を見据え、社会の健康と福祉に影響を与える環境物質に低減効果のあるアレルGプラス(商標権取得済)機能性の普及・促進 |          |  |
|          |                     |   | ②アレルGプラスおよびその他機能剤の取扱量を2019年度と比較し、2024年度までに3倍にする  |          |  |

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。